

人間国宝の競演

友枝昭世と山本東次郎の至芸

能と狂言

公演日 平成27年5月3日(日・祝)
 ●開場 13時30分 ●開演 14時

会場 川崎市麻生市民館ホール

料金 5,000円【全席指定】

能

花月(かげつ)

出演 シテ 友枝昭世
 ワキ 森常好
 アイ 山本則俊
 笛 槻宅聡
 小鼓 森澤勇司
 大鼓 大倉慶乃助
 中村邦生
 栗谷浩之
 長島茂
 狩野了一
 金子敬一郎
 友枝雄人
 内田成信
 粟谷充雄
 大島輝久
 友枝真也

狂言

文相撲(ふずもう)

出演 シテ(犬名) 山本東次郎
 アド(太郎冠者) 山本則秀
 アド(新参の者) 山本則重

解説

馬場あき子

(歌人・日本芸術院会員)

アフタートーク

解説者と出演者によるお話

馬場あき子
友枝昭世
山本東次郎

チケット購入のご案内 2月2日(月)一斉発売!

1. インターネット (ホームページから24時間対応)

アルテリッカ

検索

http://www.artericca-shinyuri.com/(パソコン)
http://www.artericca-shinyuri.com/m/(携帯)



2. 電話予約

川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり)2015チケットセンター

電話 044-955-3100 (9:30~17:00)

3. 窓口販売 (A,B,C,D,E:地図参照)

A川崎市アートセンター(9:00~19:30 毎月第2月曜除く)

B新百合21ホール(9:00~17:00 毎月最終月曜除く)

C(株)プレューディオ【昭和音楽大学北校舎内】

Dマイタウンチケットセンター【新百合ヶ丘マブレ「写真工房 彩」内】

(9:00~21:00 不定休)

E昭和音楽大学チケットセンター【昭和音楽大学南校舎内】

(10:00~18:00 土・日・祝 及び 平日12:00~13:00を除く)

※お近くのセブンイレブンでもお買い求めいただけます。

主催/公益財団法人川崎市文化財団 ■共催/川崎・しんゆり芸術祭2015実行委員会
■お問合せ/川崎・しんゆり芸術祭2015実行委員会事務局 TEL044-952-5024(9:30~17:00)



能と狂言

人間国宝の競演

— 友枝昭世と山本東次郎の至芸 —

能

花月【かげつ】

九州筑紫の国、彦山の麓に住む僧(ワキ)が、自分の七歳の息子が行方不明になったことをきっかけに出家し、諸国を廻り、都につき、清水寺にお参りします。

僧はそこで、清水寺の門前の人(アイ)に会い、何か珍しいものはないかと尋ねます。門前の人(アイ)は、花月という少年が面白い曲舞などをすると紹介し、花月を呼び出します。花月(シテ)は、すすめられるままに恋の小歌をうたってたわむれます。そこへ鶯がきて、枝を飛び交い花を散らすので、弓矢でねらいますが、仏教の殺生戒を破るまいと思いとどまらず。そして今度は、清水寺の由来にまつわる曲舞を舞います。



花月の様子を見ていた僧は、これこそ行方をたずねる我が子ではないかと思ひ、さまざまの質問をし、自分は父だと名乗りを上げます。喜びの父子対面を経て、花月は門前の人々との別れに鞆鼓(かっこ)を打って舞い、幼い頃天狗にさらわれて山々を巡った思い出を語ります。そして、これからは父と共に仏道修行に出ようと、立ち去ってゆきます。

花月の様子を見ていた僧は、これこそ行方をたずねる我が子ではないかと思ひ、さまざまの質問をし、自分は父だと名乗りを上げます。喜びの父子対面を経て、花月は門前の人々との別れに鞆鼓(かっこ)を打って舞い、幼い頃天狗にさらわれて山々を巡った思い出を語ります。そして、これからは父と共に仏道修行に出ようと、立ち去ってゆきます。

狂言

文相撲【ふずもう】

大名が新参者を雇うことになりました。太郎冠者が連れてきた男が相撲が得意ときいて、大名自ら相撲の相手をします。取り組んだ途端、大名は目がくらくらして負けてしまいます。二度目は大名が相撲の秘伝書を見て対策を練り、みごと勝ちます。さて三度目は……。



取り組みの場面になってから、慌てて虎の巻を見て、一夜漬けもいいたところですがこんな姿もあちこちに見られるようで、狂言の人間描写の深さに感心させられます。

プロフィール

喜多流 能楽師 友枝 昭世(ともえだ あきよ)



- 1940年3月24日/肥後熊本、加藤家・細川家のお抱え能役者の本座・友枝家に友枝壽久夫の長男として、東京に生まれる
- 1946年/能楽シテ方喜多流十五世宗家喜多実氏に師事
- 1978年/第28回芸術選奨文部大臣新人賞受賞
- 1995年/第45回芸術選奨文部大臣賞受賞
第16回観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞
- 1996年/「友枝会」(江戸幕府崩壊後、曾祖父友枝三郎のもと熊本にて発足)を父壽久夫没後継承
- 2000年/春の紫綬褒章受賞
- 2003年/日本芸術院賞受賞
- 2004年/伝統文化ボーラ賞大賞受賞
- 2008年/重要無形文化財各個指定(人間国宝)認定
- 2011年/日本芸術院会員に就任

山本東次郎(やまもと とうじろう)



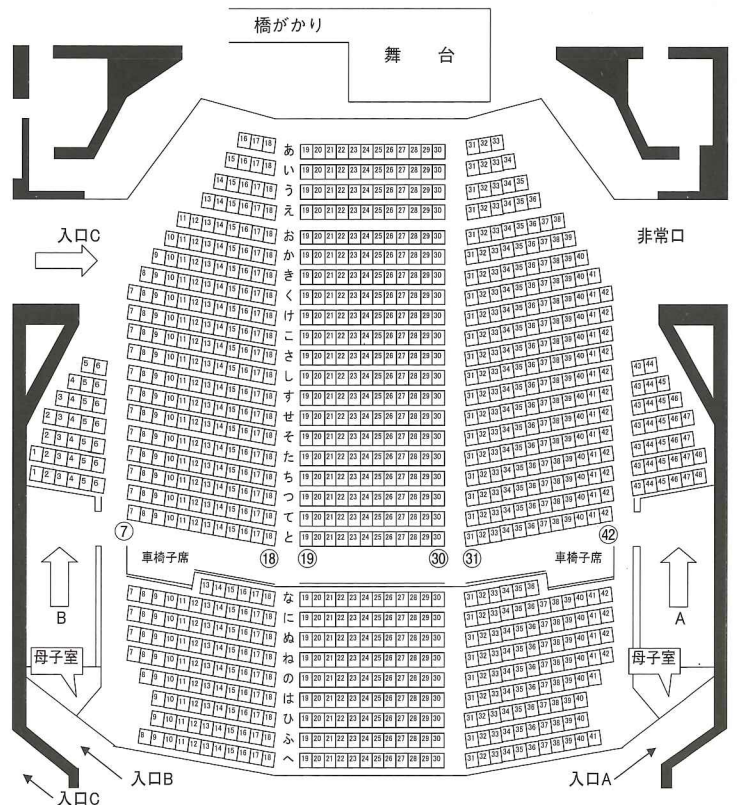
- 1937年生まれ。狂言方大蔵流・山本東次郎家四世。三世東次郎の長男。山本会を主宰。
- 1964年/芸術祭奨励賞受賞
- 1992年/芸術選奨文部大臣賞受賞
- 1994年/第16回観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞
- 1998年/紫綬褒章受賞
- 2001年/エクソンモービル音楽賞(邦楽部門)受賞
- 2007年/日本芸術院賞受賞
- 2012年/重要無形文化財各個指定(人間国宝)認定
- 一般財団法人杉並能楽堂理事長。
- 著書
「狂言のすめ」、「狂言のことだま」、「山本東次郎家 狂言の面」(玉川大学出版部)、「狂言 山本東次郎」(共著)(新人物往來社)、「中高生のための狂言入門」(共著)(平凡社)

馬場 あき子(ばば あきこ)



日本を代表する歌人、文芸評論家。短歌結社「かりん」主宰。古典や能に対する造詣も深く、喜多実に入門。新作能の制作も行い、「影姫」(国立能楽堂委嘱)は大好評を博した。日本芸術院会員、朝日歌壇選者ほか。「馬場あき子全集」全13巻ほか歌集や著書多数。川崎市在住。

川崎市麻生市民館 ホール座席表



詳しくは [川崎市麻生市民館座席表](#)

[検索](#)